

# 令和4年第1回 市民福祉委員会会議録

令和4年3月3日

恵那市議会 議場

開 会： 午前8時58分

委 員 長 西尾 努、

副委員長 服部 紀史

2番委員 山内 敏敬、3番委員 安藤 直実、4番委員 鵜飼 伸幸、5番委員 後藤 康司

副 議 長 町野 道明

委員長 ;おはようございます。定刻より少し早いですが、皆さんお集りですので、ただいまから令和4年第1回市民福祉委員会を開会いたします。

本日の会議は、去る2月24日の本会議において、当委員会に付託された議案の審査であります。議事の進行は次第書の順序で行いますので、よろしくお願いいたします。

それでは初めに小坂市長、御挨拶をお願いいたします。

市長 ;皆さんおはようございます。本日第1回目となります、市民福祉委員会に早朝よりお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

少しだけ、近況を申し上げます。まずコロナの件でございますが、今朝の新聞をご覧くださいとわかりますように今日までの累計で、感染者の方は750名でございます。

そのうち2月だけで感染された方が316名ということでして、1月が165名。その前に一番多かったのが昨年の8月でして、このとき88名でございますので、本当に倍、倍、倍・・・というような状況でございます。ただ、ここに来て少し落ちつくような気配があるなということを、私どもも感じております。今日の夕方、県の本部員会議が開催予定でございます。ここでまん延防止等重点措置の延長も含めて、ある程度決まってくるのかなということを思っておるところでございます。

それから傾向を少し申し上げますと、やはり家族内の感染が非常に多いということや、それから、介護施設などの感染も非常に多いということでございます。例えばですね、若い方が多いっていう点では、2月28日に発生しましたときに、これ24人の方が感染されていますけど、そのうち21名の方は、40代以下ということでござい

まして、非常に若い人が多いということでございます。今は、少しずつ取戻しつつありますので、引き続き、感染防止対策を含めて、徹底をしていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

それから、先週 25 日金曜日に、リニアまちづくり講演会をオンラインでという形でやらせていただきました。非常にいい話を聞けたと思いますので、これはユーチューブでもご覧いただけます。また、見たことのない方がいらっしゃいましたら、そんなところも PR していただけたらと存じます。よろしくお願いいたします。

それでは、今回、非常に多くの案件がございます。ぜひ、活発な御意見を賜りますようにお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

委員長 ; ありがとうございます。

続きまして、町野副議長、御挨拶をお願いいたします。

副議長 ; おはようございます。昨日に引き続きまして、第 1 回市民福祉委員会ということで、早朝より、皆さん御苦労さまです。まだまだ朝晩寒い日が続いておりますけども、卒園とか卒業とかそういうものが迫っております、春の兆しもある中であります。そんな中で当委員会の新年度の民生を中心とした重要な予算が 16 件と多くございます。的確にですね、簡潔にわかりやすく、効率的に慎重審議をしていただくよう、よろしくお願いいたします。以上です。

委員長 ; ありがとうございます。

それでは議題に入りますが、議案の内容は本会議において詳細説明まで受けておりますので、直ちに委員の質疑、それに対する答弁、討論、採決という順序で進めさせていただきます。

なお、本日は議場での開催となっております。質疑、答弁は着座にて行いますが、発言する際には挙手をし、委員長が指名してから、必ずマイクのランプが点灯していることを確認し、口元にあることを確認してからマイクに向かって、簡潔に質疑答弁されますようお願いいたします。

---

委員長 ; 初めに、「議第 2 号 恵那市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 2 号 恵那市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛 成 者 挙 手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 2 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 3 号 恵那市子育て支援拠点施設設置条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

はい、3 番委員。

3 番委員 ; おはようございます。お願いいたします。これはこども元気プラザの利用時間の変更ということです。月曜日の午後からの 3 時間っていう、それは今まで空いていなかったものをオープンにするということは、これは以前から要望もあったというふうに聞いておりまして、これについてはよいのですが、6 時を 5 時に 1 時間短くするということです。これは、サービスの低下につながる可能性もあるということなのでお尋ねしますが、まず 1 時間早くするという理由は何でしょうか。それと、これについては、ここを使っている利用者の意見やアンケート、ニーズとか過去の利用実績、そういったものをきちんと検証された結果なのかどうかお尋ねしたいと思います。

委員長 ; はい、子育て支援課長。

子育て支援課長 ; はい。よろしく願いいたします。こども元気プラザですけれども、利用の仕方を見ますと、午前中の利用が多く、昼からになりますと少し減って、夕方になると益々減るというような利用の状況になっております。現在はコロナウイルス対策によりまして、午後 4 時までの時間短縮で運営しておりますので、午後 5 時以降の利用がございませんが、令和元年度までは時間制限をしておりましたので、1 日にしますと、2、3 組ぐらいが 5 時以降に利用したという数字もございます。令和 2 年度と令和 3 年度にわたりまして、こども元気プラザ運営委員会で、午後 5 時以降の利用につきまして意見を聞きました。こども元気プラザは未就園児が中心に使っておりまして、委員の保健師などからは、「子どもの発達や生活を第一に考えますと、午後 5 時には家に帰って、夕食を食べたり、お風呂に入ったりを早く済ませ

て、早く寝るという生活をさせるべきである。」というような意見。または、「遊びと生活の時間の区切りをつけるためには、午後5時ぐらいまでには家に帰してあげるべきだ。」というような意見がございました。こども元気プラザを実際に利用しておられる方も委員さんもおられまして、「午後5時半や6時には、もうご飯を食べている時間だ。」という御意見でございまして、開館をしても利用しないというような意見でした。午後6時までの開館の必要性を話した委員さんは1人もいなかったというところでございます。これらのことから、午後5時での閉館に向けて準備をしているところでございます。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3番委員。

3番委員 ; はい、私も確認したところ、ほとんどこの時間は行かないっていう方を聞いています。ただ、条例改正のパブリックコメントを出していただいたときに、今、課長言われましたけど、子どもの発達を第一に考える。そして、子どもの成長のために条件を整えることが必要ということで、6時を5時にしますという話でしたが、それでしたら最初からですね、こども元気プラザも6時ではなく、5時にしておくべきだったのかなというふうに思うんですけど、この1時間でその発達の成長を妨げるとか、そういう意味ではないんですよね。そこだけちょっと確認しておきたかったです。

委員長 ; 子育て支援課長。

子育て支援課長 ; はい。もちろん、そういう意見もあったから、この話を進めたということもありますけれども、実際に利用している子どもがいないというのが一番にありまして、「5時以降の利用についてはどうですか。」と、運営委員会での議題にさせていただいたところになります。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第3号 恵那市子育て支援拠点施設設置条例の一部改正について」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 3 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 4 号 恵那市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; はい、子ども福祉医療費を 18 歳まで拡大していただけることで、これは、単純にはありがたいことかなと思います。この提案に至る経緯について説明がありましたが、子育て世帯への経済的支援のニーズについて、子ども子育て会議の委員さんたちの意向を大切にしてくださったということだと思いますが、私も改めて議事録を確認したんですけれどもね、委員さんたちは、この子ども福祉医療自体の提案っていうよりも、例えば制服代や高校の通学補助、あとは中高生の集う拠点があるといいなと、そういうような意見も出ていた中で、いろいろ精査した結果ということですかね。この医療費無料化したというのはどういった判断の中でされたのかなということです。あと、具体的に市民の声だとか、議会からも高校生までは無料にしてほしいという意見が、議会は分かっています。市民からもそういった声があったのかということと、令和 4 年度は、財源として 3,470 万円ということでしたけど、この積算の根拠はどういうことか。そして、本会議の答弁の中では県や国にも、この件については要望していくということで答弁されておりましたが、これは既に要望されている事なのかどうかということと、それについて、県・国の見解が今どういうふうな状況になっているのか。その点について、幾つかありましたけどよろしくをお願いします。

委員長 ; 社会福祉課長。

医療福祉部次長兼

社会福祉課長 ; はい。お願いします。今回の高校生世代まで医療費を拡大するということでございますけど、今年度、子育て全体の支援策を検討してきました。その中で市民意識調査などの意見と子ども子育て会議の意見で、特に他の世代と比べて高校生の年代の支援が少ない。教育費の負担が大きい年代の支援が必要ということで御意見をいただいたところでございます。ほかにも、来年度予定している子育て支援策があるわけですけど、この高校生の医療費の対象を拡大することにつきましては、保護者の経済的負担を軽減するという。パブリックコメントでも何か給付という意見も

ありましたが、給付など、一過性のものではなくて、中学校を卒業して、新たに3年間医療費が無償になるということで、適正に医療を受ける機会、健康の保持増進などを目的としてこの事業を実施したいと考えております。あと、予算の積算の根拠でございますけど、当初予算で3,471万9,000円を提出しておりますが、そのうちの3,300万円が扶助費として計上しております。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で福祉医療費の助成が、皆さん病院等の受診控えということで少なかったものですから、令和元年度の、当時の中学生1年生から3年生までの助成額の実績が3,200万円ほどあります。それを積算の根拠として3,300万円の扶助費を計上させていただいております。

その他につきましては、事務費とあとは医療費審査手数料というものがかかりますのでそれで140万円ほどを計上しているところでございます。あと国県への要望ということで、市長会とか、県等を通して要望が行われていますけど、県の担当者と福祉医療の関係で話す機会があったときに、恵那市でも拡大を検討しているという中、各市町村でばらばらで医療費の助成が違うということは不公平という話もしました。県の担当も、引き続き国のほうへは要望をしているということでございます。以上でございます。

委員長 ; 子育て支援課長。

子育て支援課長 ; はい。補足でございます。市民の意見について聞きましたか、というところでございますけれども、一つは、大きなところはパブリックコメントがございしますが、ほかでアンケート調査を行ったことがございます。この医療費無償化についてでございますが、その中では「強く望む」と答えたのが70%で、「望む」と答えたのが24%で、合わせて94%の方が望むという方向でございました。また、その理由は何かというところでございますが、経済的な負担ということを感じるという方もおられますし、けがとか、体調不良の可能性があるとということを心配される方、あるいは、既に病気というか、定期的に通院してみえる子どももいるというようなことなどの意見がございました。以上でございます。

委員長 ; はい、ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第４号 恵那市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第４号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第５号 恵那市老人福祉施設条例の一部改正について」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

３番委員。

３番委員 ; はい、これ特別養護老人ホーム福寿苑の１０床の増床の改正ということですが、この今回の改正に対応するこの１０床の増床は、７期、前期の計画かなということでした。現在は８期で、令和３年から令和５年が８期になるわけですが、この計画を見ますと、この計画の中でも特養の２０床の増床を目指して、予定としておりますけれども、令和５年まで、あと２年間ありますけど、この２０床分の計画と現在の状況との整合性、今後の見通しなどを教えていただきたいと思います。

それと、今の特養の定員がこれで３１０名ということになると説明がありましたけれども、今現在ですね特養に入りたいと待機を希望されている方がどのくらいいるかという話で、多分数百名という話でしたが、実際に本当に必要な逼迫して、例えば、ひとり暮らしだとか老々介護で大変だとか、本当に待っていると。そういった必要に駆られて、そのニーズが何人ぐらいいらっしゃるか、その辺についてお尋ねしたいと思います。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。お願いいたします。

議員おっしゃいましたとおり、この特別養護老人ホーム福寿苑の１０床につきましては、８期計画ではなく、一つ前の７期計画に位置づけた分が、これに当たるということでもあります。

７期計画では３０の増床を計画しまして、特別養護老人ホーム明日香苑で１０床、今回の特別養護老人ホーム福寿苑で１０床、この２０床を増床したということでもあります。予定しましたところで１０床がまだ未達ということでありましたので、これをこの８期計画に持ち越したということと、さらに１０床を加えまして８期計画では３年間で２０床の増床を行っていきたいという計画を立てたものでございます。

現在の状況はどうだということでありますけれども、これにつきましては事前の社会福祉法人等との協議や、達成の度合いなども勘案し、20床を計画に位置づけたところではありますが、現在は、コロナによる施設経営の影響であつたりとか、あるいは、介護人材の確保が非常に困難である。こういったところから、今日までにですね増床できる具体的な動きはないといったところであります。この先、時間がございますので、このあたり各法人等とも協議を重ねながらということになりますけれども、万が一これが計画の中で、達成が出来ないということになれば、次期、9期計画のほうへまたこの辺りを勘案し、計画に位置づけてまいりたいということを考えております。

それから、待機者のお話であります。令和3年4月の数字でございますけれども、このときには、特養の待機者は353人という数字が上がってきています。ただ、このうちすぐに入所したいという方は、41人、半年以内に考えたいという方が16人、1年以内という方が14人、とりあえず申し込んでおられるという方々が、278人という数字をつかんでおります。以上でございます。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第5号 恵那市老人福祉施設条例の一部改正について」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第5号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第9号 令和3年度恵那市一般会計補正予算（第9号）（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。



（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 9 号 令和 3 年度恵那市一般会計補正予算（第 9 号）（歳入歳出所管部分）」

は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛 成 者 挙 手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 9 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 10 号 令和 3 年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 10 号 令和 3 年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」

は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛 成 者 挙 手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 10 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 11 号 令和 3 年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 11 号 令和 3 年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」は、

原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 1 1 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 1 2 号 令和 3 年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 1 2 号 令和 3 年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 1 2 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 1 4 号 令和 3 年度恵那市病院事業会計補正予算（第 3 号）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 1 4 号 令和 3 年度恵那市病院事業会計補正予算（第 3 号）」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 1 4 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 1 5 号 令和 3 年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算（第 2 号）」を議題といたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 1 5 号 令和 3 年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算（第 2 号）」

は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

（賛 成 者 挙 手）

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 1 5 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 1 6 号 令和 4 年度恵那市一般会計予算（歳入歳出所管部分）」を議題といたします。

当初予算の内容は、大変広範囲でありますので、委員の皆様には事前に配付しておきました質疑区切り表に合わせて質疑をしていただくよう御協力願います。

歳入から行います。

予算資料の 19 ページから 23 ページ、市税から市債の所管部分について、御質疑ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 次に、歳出に入ります。

予算資料の 31 ページ、2 款 3 項 1 目、戸籍住民基本台帳費事務一般経費から旅券事務一般経費について御質疑ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 次に、予算資料の 32 ページから 34 ページ、3 款 1 項 1 目、地域福祉推進経費から 8 目、生活困窮者自立支援事業費について御質疑ありますか。

3 番委員。

3 番委員 ; はい、予算資料の 34 ページの生活困窮者自立支援事業費です。予算の説明の中に、新たにアウトリーチ支援員を配置するということでしたが、このアウトリーチ支援員という方はどのような役割の方でしょうか。これは予算が幾らということ

で、この支援員に対する予算は幾らということでしょうか。

委員長 ; 社会福祉課長。

医療福祉部次長兼

社会福祉課長 ; はい。アウトリーチの支援員の配置について説明いたします。

まずこの事業につきましては、アウトリーチ等の充実による自立相談支援強化事業というものがあまして、生活困窮者自立支援制度における自立支援機関にアウトリーチ支援員を配置し、社会参加に向けて丁寧な支援を必要とする方に対して、アウトリーチ等による積極的な情報把握により、早期に支援につなぐことや、支援につながった後の集中的な支援を行うということで、自立支援を強化するものでございます。具体的には、家族などから相談があったケースについて、自宅に伺い、本人に接触するなど初期のつながりをまず確保し、つながりができた後の信頼関係の構築、本人に同行した関係機関への相談、就労支援といった自立までの一貫した支援を実施するものでございます。

今回のアウトリーチの支援員関係の予算につきましては、人件費報酬として 160 万 1,000 円、共済費社会保険料で 25 万 7,000 円、通勤手当で 6 万 6,000 円がアウトリーチについての経費となっております。以上です。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; すいません、これ具体的にいうと社会福祉協議会さんが、生活困窮者の自立支援事業の委託を受けているということで、社会福祉協議会さんの中でこの人を配置するという考えでいいですか。

委員長 ; 社会福祉課長。

医療福祉部次長兼

社会福祉課長 ; はい。自立支援機関の強化ということで、配置は市に置くか、社会福祉協議会の窓口に行くか、または任務として事務所に座っているのではなく相談者の支援のため、それから、例えば明智でやっている居場所づくりの拠点へ行行って支援をする、そういった形をとりたいと思っております。社会福祉協議会の自立支援の事業とも当然連携して、その部分も補完するということもやっていただく予定にしております。以上です。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; 大事なことだと思ってアウトリーチ、要するに訪問して、その人に寄り添ってということです。ぜひですね、成果にすぐ結びつくかっていうところは難しいかもしれませんが、その人ができれば就労に向けてとか、そういうところを、目標を持って大事にやっていただきたいと思うので、これはぜひ継続してやっていただくような

予算配置になるといいと思うんですが。これは単年度だけということではないですか。あるいは令和4年だけではないですか。

委員長 ; 社会福祉課長。

医療福祉部次長兼

社会福祉課長 ; はい。今回のこの強化事業につきましては、国が10分の10の補助で、単年度の計画です。令和5年度以降はまたそういった補助制度を使ってやるか、今回配置した支援員のスキルを、うちの相談のスタッフ等も継承する形で、引き続きこういう事業はやっていきたいと思っております。現状でも、特に制度の狭間にいるような引きこもり等の相談については、職員が定期的に訪問したりして、相談支援を行っているような状況でございます。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

1 番委員。

1 番委員 ; はい、よろしくお願いします。予算資料の32ページになります。3款1項1目の地域福祉推進経費の中の第4次、地域福祉計画に関係してお尋ねさせていただきます。現在策定されております第3次計画を見ますと、社会福祉協議会が策定する発展、強化計画というものがあるようなのですが、これと同時に策定されております。今回の第4次のもも、同様の形で策定するのか、もしそうであれば費用負担はどのように考えているのか。それから第3次のときも、初めて同時に策定をしたということで、年度内で非常にスケジュール的に厳しかったというふうに記憶しておりますが、そこら辺のスケジュール感もあわせて、説明をいただきたいと思えます。

委員長 ; 社会福祉課長。

医療福祉部次長兼

社会福祉課長 ; はい。お願いします。この地域福祉計画策定につきましては、令和4年度で第3次の計画が終了するというので、来年度、第4次の福祉計画と、今議員が言われたように、前回も社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画を一体化して策定をいたしました。今回もその予定で、社会福祉協議会と連携をして策定に当たりたいと思っております。当然、地域福祉の推進に当たっては、市と社会福祉協議会が連携をして整合をとっていく必要があるということで、引き続きそういった形で進めたいと思っております。

経費については、社会福祉協議会さんの地域福祉活動計画についての費用は、社会福祉協議会さんのほうで負担をしていただきます。

スケジュールにつきましては、今年度この地域福祉計画の関係のアンケートを実施

しておりまして、アンケートが今月中にまとまりますので、まとまった調査結果については、また改めて議員の皆様にご報告させていただきます。そのアンケートを基に、4月から市内の13地区で、地域福祉懇談会を今のところ、各2回予定をして、あとは職員のワーキングチームの設置、パブリックコメントの実施、策定委員会ということで、令和4年度中に策定を終わりたいと思っております。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは次に、予算資料の34ページから36ページ、3款2項1目、児童福祉事務一般経費から、3款5項1目国民年金事務一般経費について御質疑ありませんか。  
3番委員。

3番委員 ; はい、35ページ、予算資料です。放課後児童対策だとか、子育て支援関係の説明がありました、令和4年度からの拡充施策について、第3子以降の支援をするということで、ありがとうございます。予算的なことを見ますと、200何万円ということで、すいません、それほどではないというか、金額なんですけども、実際ですね、多子世帯は経済的な負担感もあるのでうれしいと思います。  
対象となる人数をちょっと教えていただきたいです。それぞれのですね事業について、どのぐらいの人が対象となるのか。よろしいですか。

委員長 ; 子育て支援課長。

子育て支援課長 ; はい。このたび第3子以降に対して、支援をしていくというような施策を行ってまいります。どのぐらいの人数の利用というところでございますが、一番多いのは、放課後児童クラブであります。これから申し上げる数字につきましては利用実績等をもとに、算出した数字でございます。放課後児童クラブでは、38人を見込んでおります。そしてファミリーサポートセンター事業では、延べですけれども、22人ほど、それから育児ヘルパー支援では、延べ1.7人ほど、産後ケアでは、延べ1.7人ほどを見込んでおるところでございます。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは次に、予算資料37ページから39ページ、4款1項2目、保健センター一般経費から6目、病院施設等整備整備基金積立金について御質疑ありませんか。  
3番委員。

3番委員 ; はい、まず予算資料の、37ページです。保健センター一般経費の新型コロナウイルス感染症の対策ということで、現状を教えてくださいということです。市民の皆さんか

ら、先ほど市長からも状況を教えていただいたんですが、特に高齢者です。もし感染した場合、自宅待機になるんじゃないかとか、後方支援施設が今やっているか、やってないのかよく分からないですと、そういった不安の声を聞くわけです。

まず、後方支援施設ですが、その現状とそういった高齢者については、現在の状況で、確実に今、病院に行けるような体制があるのかどうかと。その辺についてお尋ねします。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; すいません、ただいまの質問の内容ですと、保健所のほうで感染された方の処遇と  
いうか病院のほうに行かれるとか、後方施設に行かれるとか自宅療養というところは  
やっておりますので、市のほうでそちらは関わっておりませんので、お願いします。  
こちらに書いてある保健センター一般経費の新型コロナウイルス感染症の感染  
予防対策経費というものにつきましては、感染予防のための消毒液ですとかマスク  
とか、そろえておく衛生物品ですね、そちらのほうの購入費を上げさせていただ  
いておりますので、よろしくお願いします。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; 県のほうの対応になるということで、いつも言われるんですけども、議員への説  
明などでは、例えば後方支援施設が今、東濃 5 市の何人だとか、自宅待機者が何人  
とか、そこまでは出ると思うんです。だけれど、ちょっと現実的にはやっぱり、自  
分の市はどうなのかとか、そういうところがすごく市民は気になるわけです。です  
ので、コロナもう 3 年経っていますし、その辺の情報開示なんかについては、も  
う少し県へも開示してもいいかどうかとか、そういうような市の動きもつくってい  
ただけたらと、随分前からそういう意見もあるし、いかがですか。県へそういった  
ことも要望していただけないものでしょうか。

委員長 ; 医療福祉部長。

医療福祉部長 ; 宿泊療養施設の受け入れ状況については、県のホームページに毎日掲載されていま  
すが、今日現在でいきますと、恵那峡グランドホテルは 3 月 2 日時点で 27 名、本  
日の受入れ予定が 6 人ということです。定員 49 名ですので、半分ちょっと入所し  
ているということです。また、土岐市のルートインホテルについては、50 人で本日  
の受入れはなしということです。こちらは定員 143 人で、半分以下になっておりま  
すので余裕があります。しかし、今現在は自宅療養を県は最優先の処置にしていま  
すので、症状がなくて、年齢も若い方については、すぐにホテルとかではなく、自  
宅療養になります。ただし、家の中で分離できないなどの理由がある方について

は、ホテルへ入所されると聞いております。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; そうしますと、今の恵那市の状況や岐阜県の状況を見て、今のところは、若い人は自宅待機、若いってどれぐらいか分かりませんが。ただ 65 歳以上とか、高齢者の方たちは基本的に施設や病院、あるいはまた施設に行けるというような、今はそういう状態だということによろしいですか。

委員長 ; 3 番委員。よろしいですか。これ予算関係の話から、今コロナの現状の話に変わってしまっているんですけど、そういうことであれば、一般質問していただくほうがいいと思いますけど。先ほども課長が言いましたけど、あくまでも備品購入の予算計上という説明なので。

委員長 ; ほかにありませんか。

1 番委員。

1 番委員 ; はい、第 2 期の I C T 活用推進計画に基づく事業が幾つか見受けられるようですので、まとめて質問させていただきたいと思います。

特に主要事業の概要に、新たに取り組むと言ったようなことから拾って 3 点ほどちょっとお伺いしたいと思います。

まず、予算書の 37 ページの最下段になりますけど、がん検診事業の中では、これ 24 時間申込みできるネット環境の充実というような説明がありましたのでそこら辺、どのように考えているのかお尋ねします。

それから、次の 38 ページの最上段になります。健幸まちづくり事業費の中で、健康ポイント制度の拡充において、えーなびを使用したポイントラリーを実施というような説明がありましたので、そこら辺分かる範囲で御説明いただきたい。

それから 3 点目、最後になりますが、最下段にあります母子保健事業費の中で、ここでは、新たにオンライン相談を実施というようなことが書かれておりましたけど、この内容についても御説明していただきたいと思います。

委員長 ; 健幸推進課長。

健幸推進課長 ; はい。お願いします。では最初に、がん検診のオンラインでの申込みについて御説明します。令和 3 年度から、えーなびから予約ができるように実施しております。その中で、若い世代の方たちは、少しずつ予約が入るような状況になっているので、これはやはり効果的かなというふうに思っております。ただ、画面が少し見にくいとか、自分がどの検診の対象になっているのかがちょっと分かりづらいのではないかなというところもありましたので、その辺のところを少し分かりやすく



申込みしやすいような形に改善しまして、24 時間受付ができるような形を今考えております。

2 番目に、ポイント事業の、えーなびを使ったポイントラリーについてですけども、今現在は、ポイントシートのみによる応募という形になっております。内容も健診と健康づくりに取り組むというような少し複雑な内容になっておりまして、申込みがなかなか伸びないというようなところが、課題としてありましたので、次年度は、えーなびを使用してポイントラリー、それも紙のものと併用しながら行っていこうというふうに考えておりまして、健診を受けたりするとその会場に集団なんですけども、QR コードを設置しまして、えーなびで読み込むことで、ポイントが獲得できるとか、あと、まきがね公園とか山岡の健康増進センターとかそのような施設にも、QR コードを設置しまして、同様にポイントが獲得できるような、今の若い世代の方はやはりそのほうが入りやすいのではないかなというふうに思いまして、そのような形で、健診とか健康づくりに関心を持っていてもらおうというふうに思っております。

あと、母子保健のオンライン相談につきましては、現在は電話相談とか、あとは訪問だったりとか来ていただくということで、対面での相談ということになっております。あとは電話というような形なので、今コロナで、来庁というか対面を躊躇されるお母さんもやはりいらっしゃるのではないかなということで、Z o o m ミーティングということをちょっと検討しておりまして、保護者の方が相談したい内容を、メールで健幸推進課のほうのアドレスに送っていただいて、専門スタッフと日程を調整しまして、その後、Z o o m による相談を行うというような形を今検討しております。メールのQR コードなどをこれから母子健康カレンダーや広報などで、お示ししながら周知を図っていきたいと思っておりますので、よろしく願います。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; はい、39 ページの病院事業費及び地域医療確保ですが、まず病院事業費の一般会計負担分、今年度 7 億 7,246 万円ということですが、この金額については、市立恵那病院と上矢作病院の出資及び補助金ということだと書いてあります。それぞれですね、病院へ幾ら出資しているかということ、まずお尋ねしたいと思います。

委員長 ; 答弁出ますか。後にしますか。

(マイクオフ)

委員長 ; 3 番委員お願いします。

3 番委員 ; 今の市立恵那病院の運営体制について、特に整形外科の診療体制について、市民の方からすごく不安の声があります。現在、2 月 25 日の段階で、月曜日、水曜日がお休みになっています。医者もですね、非常勤で 3 名ということですが、以前、2 年ほど前は常勤の先生が、2 人でほぼ毎日診察されていたと思うんですけども、年々不安定な体制になっているというところで、市としてどのように整形外科について、特にどのようにお考えなのかなと思います。以前も恵那病院に行きたかったのに、医師がいないということで中津川市民病院に行ったということもあって、少し体制が不安定じゃないかという声がとても多いんです。地域医療振興協会との関連もあると思うんですけども、恵那病院の整形外科がちょっと縮小していくんじゃないのと、そこまで不安になっている方もいらっしゃるので、その点について、市としてどのように考えて、今後どうしていきますかということです。特に、高齢者も多くて今コロナといっても、やはり、怪我をされる方はいらっしゃるんですよ。ですので、その整形外科の体制について、いかがでしょうか。

委員長 ; 地域医療課長。

地域医療課長 ; はい。市立恵那病院の整形外科ですが、議員がおっしゃるとおり、現在、月曜日と水曜日を休診させていただいております。2 年前までは常勤の先生がいらっしゃいましたが 1 名の方が退職され、もう 1 名の方は昨年度は常勤として整形外科にいましたが、今年度からはリハビリテーション科に異動しまして、運営しております。その間は非常勤の先生でお願いしているところでございますが、今年度の 4 月から、常勤の先生を確保しましたが、諸般の事情によりまして、非常勤しか来られなくなったということで、今現在のところ医師確保に努めております。市としましても縮小するつもりはないですが、なかなか医師の確保に苦慮しているというところが現状でございます。来年度 4 月からは月曜日も診療を行うようには進めておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; はい。縮小するつもりはないということでしたので、当面は頑張っていただきたいと思うんですが、医師確保と、あと医師の処遇改善ですかね、その辺を考えていけるのか、病院だけの力でできるのかっていう、その点についてはどのようにお考えでしょうか。

委員長 ; 地域医療課長。

地域医療課長 ; 医師の処遇改善ということですが、できる限り非常勤の先生と相談しながら働きや

すい環境を整えて、迎え入れていこうと思っておりますが、なかなかそのところの折り合いがつかなかったりですとか、そういったような事情で、確保が困難ということになっております。以上です。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; はい、ちょっと安定な体制に向けてしっかりどうしていくかという、中津川市民病院との関係の中で考えていくのか少し方向性を持ってやっていただきたいということを思いますが、令和 4 年度ですね、地域医療調査事業ということで、新規事業、令和 4 年度、地域医療調査ということを始められる 464 万円がありました。これは、この調査をして具体的に何を目指していくのか。例えば以前の市立恵那病院を建設するときには、公立病院の在り方検討委員会とか、そういったものも設置したということもございますけど、そういったものに向けてやっていくということなのか、もう少し具体的な、方向性を教えていただきたいと思います。

委員長 ; 地域医療課長。

地域医療課長 ; はい。現在、恵那市の医療につきましては、少子高齢化も進んでおりますし、コロナのまん延など医療を取り巻く環境が非常に大きく変化しております。市立恵那病院も新病院を開設しましてから、中核医療機関として役割を担っていただいておりますが、一方、上矢作病院や地域の公立病院は、施設の老朽化、それから、医師やスタッフの確保が困難になっておりますし、患者数も減少している状況でございます。また民間の医師も高齢化が進んでいるということで、課題が多い中、将来にわたって安定した運営、医療提供ができるということが望まれております。将来的にも市民が安心できる医療の提供と、それから施設の安定的な経営、そういったことを行うために今後の市の医療の在り方を検討するための調査を行うものです。今後はこの市の医療の在り方を検討するに当たりまして、データを作成後、市民の皆さんや関係機関との意見を聴取しながら、進めていきたいと考えております。以上です。

委員長 ; 3 番委員。

3 番委員 ; はい、進めていきたいということは分かりますけど、実際、県の地域医療構想なんかも圏域毎に出ています。国保上矢作病院と市立恵那病院をどうしていくとか、そういった恵那市だけの問題になるのか、少しそういった広域的な医療体制を含めた、今後の見方というのを考えられるということによろしいですかね。また、単独で私はちょっと完結するものではないなというふうに感じておりますが。

委員長 ; 地域医療課長。

地域医療課長；はい。県でも医療計画を策定しておりまして、次期第8次の医療計画は令和6年度から令和11年度となっております。来年度以降、令和5年度にかけて、この医療計画が策定されますし、また、公立病院の経営強化プランの策定も見据えております。そういった方向の中で、恵那市としてどのように医療の在り方を考えていくのかというところを示していきたいと考えております。以上です。

委員長；ほかによろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

それでは次に、予算資料の12ページ、債務負担行為（現年度議決分）所管部分について御質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；次に予算資料の13ページから14ページ、地方債の状況（一般会計分）所管部分について御質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；次に、予算資料の15ページから16ページ、基金の状況（一般会計分）所管部分について御質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；次が予算資料及び説明書の6ページから9ページ第1表歳入歳出予算所管部分について御質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；次に予算資料及び説明書の13ページから15ページ、歳入歳出予算、事項別明細書、所管部分について御質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長；それではそのほか全体を通して、所管部分について御質疑ありませんか。

はい、地域医療課長。

地域医療課長；はい。先ほど3番委員から御質問がありました、市立恵那病院と国保上矢作病院の補助金、出資金の内訳ですが、よろしいでしょうか。

まず、市立恵那病院につきましては、負担金補助金が3億8,170万5,000円。国保上矢作病院は1億8,277万5,000円となります。また出資金につきましては、市立恵那病院は1億8,084万4,000円、国保上矢作病院は2,714万1,000円となっております。以上でございます。

委員長；はい。それでは、全体をとおして何かございませんか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 16 号 令和 4 年度恵那市一般会計予算（歳入歳出所管部分）」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 16 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 会議の途中でありますが、ここで 10 時 10 分まで休憩いたします。よろしくお願いいたします。

(午前 10 時 00 分休憩)

---

(午前 10 時 08 分再開)

委員長 ; 休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

次に特別会計・企業会計に移ります。

「議第 17 号 令和 4 年度恵那市国民健康保険事業特別会計予算」を議題といたします。予算資料の 58 ページから 61 ページをお願いいたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 17 号 令和 4 年度恵那市国民健康保険事業特別会計予算」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 17 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 18 号 令和 4 年度恵那市介護保険事業特別会計予算」を議題といた

します。予算資料の 62 ページから 66 ページをお願いいたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

3 番委員。

3 番委員 ; はい、お願いします。まず 62 ページの歳入のところです。介護職の処遇改善加算が決まったと思います。これはですね、この介護保険特別会計を通すのか、直接事業者に入るのか、その点について教えていただきたいのと、これは介護職、福祉職にとっては大変うれしいことだと思いますが、しっかり支払えているか。以前ですね事業所のほうが経営に使うとか、そういったこともあったわけですが、保険者、恵那市としてその辺のチェックなどの体制はできるのかどうか、それについてお尋ねしたいと思います。

もう一つ、保険者努力支援交付金について、続けていってよろしいですか。

(マイクオフ：他に発言する者あり)

分けたほうがいいですね。

委員長 ; はい。高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。お願いします。介護職の処遇改善支援補助事業ということであろうかと思いますが、こちらにつきましては令和 3 年 11 月 19 日に閣議決定されておりますけれども、コロナ克服新時代開拓のための経済対策、これに基づいて介護職員の収入を 3 % 程度、これ月額にしますと 9,000 円というふうに言われておりますけれども、これを引き上げるということとなりまして、対象となります介護事業所には、原則として先月ですね、令和 4 年の 2 月の分から、介護職員の賃金を改善するように通知がなされておるということであります。

この特別会計に反映されておるのかということでもありますけれども、現在の情報でありますけれども、この令和 4 年の 2 月から 9 月までの賃上げ相当分については、各事業所が岐阜県を通じまして、申請をし国保連合会からその分が直接支給されることになっておりますので、今回の特別会計にはそうした経費は計上しておりません。また、実際の補助金の申請の手続は 4 月以降というふうに聞いております。10 月以降の分につきましては、介護報酬を改定して位置づけていくというふうに聞いておりますので、そうなりますと当然、この特別会計の中で介護給付費に影響が出てまいります。場合によっては、補正予算をお願いするということになろうかと思っておりますのでお願いいたします。

それから、実際に払われたかどうかのチェックはということでもありますけれども、この 9 月分までにつきましては、実際に補助金が人件費に充てられたかどうかのチ

エックこれは岐阜県、都道府県が確認をするという位置づけになっておりますので  
よろしく願いいたします。

関連して、少しこの内容だけもう少し説明させていただきますと、対象となる事業者はいわゆる、これまでに処遇改善加算を算定する事業者というふうになっておりまして、ほぼほぼ介護に携わる施設というものが該当になってまいりますけれども、一部、訪問看護とか訪問リハビリ、あるいは居宅介護支援事業所、こういったものは対象外ということで聞いております。それから、月々9,000円ということでもありますけれどもこれは、実際、算定式があるようでありまして、これに当てはめてこの介護報酬の総報酬に定められた交付率を乗じて交付するというところで、標準的な職員配置の事業所で、介護職員1人当たり月額9,000円の補助金を交付するということでありまして、実際の実人数の介護職員全てに9,000円をお出しするというものではないということであります。加えて、賃金改善の対象となる職員はいわゆる介護に従事する介護職員でありますけれども、事業所の判断でそのほかの職員にも補助金を充てることが可能ということになっておりますので、お願いいたします。以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 今の件で、10月以降、介護保険事業特別会計へという話だったと思います。補正をということでしたけど、実際にここの会計に入った場合、それぞれの被保険者の介護保険料にも今後はね返ってくるということではないですか。そこまでストレートではないということ考えていいですか。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。まだ具体的な試算は行っておりません。今後こういった金額が影響になってくるのかというものを見極めさせていただき、この8期計画を変えるということはないと思いますけれども、次期計画にそうしたものを反映していく必要になってくるかというふうに思います。以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; 次の質問ですけど、同じく62ページの保険者努力支援交付金があります。これは、令和4年度から1,000万円ほどの予算がつけてありますけど、具体的に何をするのかということを重点的にということをお尋ねしたいと思います。  
それとですね、決算のときに私伺いましたが、これは保険者が努力すれば、インセンティブのお金をいただけるということなので、保険者として頑張ってもらいたいというところがあるんですが、その評価の低い分野については介護人材確保という

項目があったというふうに記憶しておりますが、その検証を踏まえて特にここ令和4年度どうしますかというお話です。よろしくお願いします。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。今回、当初予算で保険者努力支援交付金の1,001万2,000円。それから、項目がちょっと分かりにくくて申し訳ないんですけども、介護保険事業費補助金、この中にも保険者機能強化推進交付金957万8,000円を計上させていただきました。これまで制度の内容がですね、しっかり確認がとれておりませんでしたので、当初予算での計上は見送ってございましたけれども、今回制度の定着が見て取れますので、当初の予算から見込まれる金額を計上させていただいたということであります。

まず、どういう金額を積算したのかというお尋ねでありますけれども、この補助金、介護保険事業費補助金の中にあります保険者機能強化推進交付金、これは平成30年度から創設された交付金でありまして、高齢者の自立支援や重度化防止等に向けた取組を支援して、一層推進をさせるという趣旨で交付金制度が創設されたものでありますし、それから、保険者努力支援交付金につきましては、これは令和2年度から創設をされ、予防、健康づくりの取組を増加させる保険者に交付されるという趣旨のものであります。いずれの金額も令和3年度の決算見込額を同額、計上をさせていただいておりますので、令和4年度、特別に計算をしてはじいたものではございません。ちなみに、この評価についてはですね、77項目から成る、評価項目を自己採点しまして、県を通じて国へ提出し、その評価結果に対して国が配分額を決め、各市町村に交付されるというものでありまして、この金額は、令和2年度の決算額に比べますと、少しだけ減ってきておるということでありますし、順位もですね、令和2年度は、県内で9位です。42分の9だったものが、令和3年度は42分の12ということで、順位的には三つほど下がっておりますけれども、評価点の開きはそんなにないという状況になっています。何に力を入れていくか、あるいは恵那市の評価の何が強みかというところは、個々の評価項目の自己採点によるものなので、ここが強いというのはなかなか分析することは難しいんですけど、例えば、東濃5市のほかのところと順位だけ比べてみたりすると、一つには、例えば、保険者いわゆる市町村に指定権限があります地域密着型サービスなどと言われる、こういった取組の指導であるとか、あるいは、介護予防日常生活支援における集いの場の参加率だとか、介護予防と保健事業の一体化メニューの充実など、こういったところの順位が少し高く評価がされておりますので、こういったところが現在の



恵那市の強みかなというふうに考えております。以上でございます。

委員長 ; はい、3番委員。

3番委員 ; 先ほどですね、介護人材確保についてはどういう取組しますかという質問をしましたので、その答えもお願いします。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; 失礼いたしました。介護人材の確保については、当市も、非常に重要な課題の一つであるというふうに認識をしております。介護事業者との話合いの中でも、現在不足しているわけではないけれども、従事者が高齢化になっており今後非常に心配だという声も聞いております。令和4年度にはですね、介護事業者とは話合いをする中で、予算額として大きくありませんけれども、4つほど取組をしていきたいというふうに考えています。

1つは、介護の仕事を前講座という形でしっかりと位置づけていき、目的としては潜在的な人材を掘り起こしていきたいということで、対象者は、特に、アクティブシニアの元気な方々、あるいは、子育てが一段落した女性、こういった方々を対象にですね、前講座をしていくような取組をしっかりと位置づけていきたい。

2つ目には、これまた調整が必要になるかと思えますけれども、介護に関する入門的研修を市内で開催してもらうように関係団体と調整してまいりたいということを考えております。この研修を終了いたしますと、修了者には、介護職員の初任者研修の一部が免除されるような、こんなことをしていただくことが出来ないかなということを今後の調整になりますけれども考えています。

それから、介護サービス事業に限定をした会社説明会なども行ってまいりたいということ。最後はですね、これ学生に向けて、特に中学生、高校生、こういった方々、生徒さん方にですね、企業説明会などを開催させていただく機会をいただければ、介護職の魅力などを、早い段階から発信をしていくようなことを、令和4年度取り組んでいきたいなというふうに考えております。以上です。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; よろしく申し上げます。次の質問に行きますが、64ページの保険給付費です。これ、トータルすると今年度の予算は58億6,976万円と、年々上がっております。皆さんが使っているからということなんですけど、これ8期の計画書を見ると計画の中では、令和4年度は56億円ということで、計画との差の開きが2億円ほど上回っているわけです。その辺使っているかなといえ、そうなんです、保険料の徴収は3年間限定で決まっているわけなんです。そうすると、要は足りない分です

よね、その分は、どこから補填されるのかと。国や県なのか、まずそこですよね。  
その辺のことを教えていただきたい。

基金も今年度、1億2,000万円ほどですかね。取崩しをしておりますが、その辺で  
全て穴埋めするという考え方ですかね。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。介護保険給付費の関係のお尋ねであります。私どもの計算式ではですね、この8期計画、令和4年度に位置づけた計画給付費は、58億8,325万4,000円を見込むという計画にしております。で、今回の予算額、保険給付費の全体額は58億6,976万円というふうに認識しておりますので、ほぼ計画に沿って進めているという認識をしております。それから、令和4年度の地域支援事業費のところにつきましては、計画額2億3,359万3,000円に対して、2億5,861万円、こちらは若干計画値よりも多いですけども、おおむね計画に沿って行っているというふうな認識でおります。それから、基金の取崩しでありますけれども、この計画期間3年間で、2億2,000万円を取崩して、事業に充てていくという計画を立てており、このうち令和3年度で先ほど可決いただきました3月補正のところで、令和3年度は約900万円を基金から取崩して充てるということにしており、また令和4年度では、約1億2,300万円を取り崩すということの計画、予算を計上しております。したがって、全体2億2,000万円の中で若干、この2か年で大きく取り崩すような形にはなっておりますけれども、この先は、全体の状況を見極めながら考えてまいりたいと思っております。計画の期間の途中に、保険料を改定するということは考えておりませんのでお願いいたします。

委員長 ; 3番委員。

3番委員 ; すいません、私の計画書を見たところとちょっと若干ずれてて。予定どおり、計画どおり進んでいるということですね。はい。

次の質問にまいります。この2年間ほどですね、コロナで高齢者の皆さんが家に閉じこもったり、特に先ほど評価されていたという介護予防の集いの場もサロンとかも、今本当に、閉鎖状態ですけども、その影響、高齢者のフレイルだとか、そういった形で影響があるのではないかと思います。そこも今回の給付費というサービスに反映されているのか。その辺のところを教えていただきたいのと、令和4年度も、もう少しコロナが続くということですけど、地域の人も、なかなか活動しづらいというのがありますが、この介護予防の取組を具体的に難しいですけども、どういったことを進めるように考えていらっしゃるのか教えていただきたい

と思います。

委員長 ; 高齢福祉課長。

高齢福祉課長 ; はい。コロナ禍の中でどういう影響があるかということですが、お聞きしますとやはりサロン等が開催できないということで、これまで通っておられた高齢者が家に閉じこもらざるを得ない。こうしたことから、「あそこのおばあさんちょっと認知が進んじゃったんじゃないかな」なんていうそんなお話を聞く声は度々あります。ですので、非常にどうしたものかなという、そういう直感的というかな、そんな思いをしておるところであります。とにかく、外へ出かけていただいて、社会との接点あるいは刺激を得ていただくこと、これが非常に重要であるというふうに認識していますので、コロナ禍では、なかなかの制限がありますから、このあたり、どうしていくことがいいのかというのはちょっと今、答えを持ち合わせておりませんが、知恵を絞りながら、各種事業を進めてまいりたいと思っております。

それから、その辺り介護給付費これからどう反映していくのかということですが、細かな数字ちょっと今出てまいりませんが、5年前と比べてですね介護給付費の伸び率をはじいたところ、年間平均すると約1億5,000万円程度増えてきているというのが私の認識です。この伸びはこの先も増えていくであろうというふうに推測がされますので、介護保険事業全体としてはですね、大きな予算、事業規模を確保しなきゃいけないということになると思いますし、それに伴いまして、保険料の見直しというものも避けて通れないかなというふうに思っています。ですから、普段から介護保険の制度のお世話にならないような高齢者施策の取組が重要だというふうに考えております。引き続いて各種の対策を講じてまいりたいと思いますのでお願いいたします。以上です。

委員長 ; ほかにありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第18号 令和4年度恵那市介護保険事業特別会計予算」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 18 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 21 号 令和 4 年度恵那市後期高齢者医療特別会計予算」を議題といたします。

予算資料の 71 ページから 72 ページをお願いいたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 21 号 令和 4 年度恵那市後期高齢者医療特別会計予算」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 21 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 24 号 令和 4 年度恵那市病院事業会計予算」を議題といたします。

予算資料の 81 ページから 84 ページをお願いします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 24 号 令和 4 年度恵那市病院事業会計予算」は、原案のとおり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 24 号」は原案のとおり、可決すべきものと決しました。

---

委員長 ; 次に、「議第 2 5 号 令和 4 年度恵那市国民健康保険診療所事業会計予算」を議題  
といたします。

予算資料の 85 ページから 87 ページをお願いいたします。

本件に対する質疑を行います。御質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 御質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本件に対する討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; 討論はありませんので、ただいまから採決を行います。

「議第 2 5 号 令和 4 年度恵那市国民健康保険診療所事業会計予算」は、原案のと  
おり可決すべきものに、賛成の諸君の挙手を求めます。

(賛 成 者 挙 手)

委員長 ; 全会一致であります。よって「議第 2 5 号」は原案のとおり、可決すべきものと決し  
ました。

---

委員長 ; 以上で予定の議題をすべて終了しました。

最後に、本会議における委員会審査結果報告書の作成については、正副委員長に一  
任いただくことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

委員長 ; ありがとうございます。

それではこれもちまして、令和 4 年第 1 回市民福祉委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午前 10 時 34 分閉会

---

恵那市議会委員会条例第 30 条の規定によりここに署名又は押印する。

恵那市議会 市民福祉委員長 西 尾 努